

大谷大学 文藝コンテスト

親鸞部門

書き方講座

—エッセイの書き方のポイント—

大谷大学文藝コンテスト親鸞部門について

- ・現在の「文藝コンテスト」親鸞部門は、2020年度から始まりました。
 - ・それまでは「親鸞エッセイコンテスト」として開催され、現在の親鸞部門は従来のコンテストの内容を引き継いでいます。
- ここでは「エッセイ」の書き方入門編をお話します。

資料

エッセイの語意

出典『日本大百科全書（ニッポニカ）』

• **essay** (英語) **essai** (フランス語)

思索や意見、感想などを形式にとらわれず、簡潔に述べた文学の一ジャンル。…英語のessayはフランス語の「**試す、試みる**」を意味する動詞essayerから発している。フランス語のessaiはessayerの名詞形である。

資料

エッセイの語源は、「試す」こと。

- ・決められた形やルール、正解がないからこそ、エッセイは、おもしろい！！

でも / だから

- ・難しい！？

資料

•これまでの受賞作品から

テーマ：あなたにとっての「世界」（2021年度 親鸞部門）

•中学生 最優秀賞 「想像と創造」

蛇と亀と象が大地を支えている。天文台で私の目を引いたのは、天体望遠鏡でもプラネタリウムでもなく、古代インドの人々が想像した「世界」の模型だった。

現在は昔とは違い、地球が丸くて青いことは常識になっている。しかし、「世界」と聞いて思い浮かぶのは十人十色だろう。古代の人々のように、蛇と亀と象を想像する人もいるかもしれない。私が「世界」と聞いて想像するのは、パズルだ。…中略…

私はモダンバレエを習っている。踊ることは私の生きがいだ。…中略…私にはそれが、とても素晴らしいことに思えるのだ。全く違う人たちが、一つのものを作り上げようと互いに支え合っていることが。

考えてみると、それは舞台に限ったことではない。この「地球」という大きな枠でも全く同じことが起こっている。「私」や「あなた」というピースが誰かの毎日を創っている。それは、誰かに常に支えられているということである。「世界」を「そうぞう」するとき、私は感謝を思い出す。

資料

アドバイス 1 …いま、ここ、“私”という視点

あのとき、 あの場所 、 あの出来事

↓ ↑ (動き)

いま 、 ここ 、 “私” (着地)

資料

アドバイス 2…具体性はリアルさへの近道

- ・出来事、体験、ことばを丁寧にひもとき、表現することで、多くの人々にそのリアルさが伝わる文になる。
- ・テーマに関わる言葉の説明（定義）だけでは、魅力ある表現にならないことが多い。

・これまでの受賞作品から

テーマ：よりそう（2019年 親鸞エッセイコンテスト）

・高校生 最優秀賞

お母さんの誕生日は偶然にも休日だった。けれども、だからと言って何をするでも無く、いつも通りに家で過ごして、いつも通りに日が過ぎていくのを待っていた。…中略…

そんな日の午前中、誕生日である当の本人が藪から棒に「外へ出かけよう。」と言った。…中略…買ってもらうのは私ばかりで、私はお母さんに何もしてあげることができなかった。

流石に居た堪れなくなり、私はお母さんに「誕生日だから何かプレゼントするよ。」と言うと「じゃあプレゼントはいらないから、そのかわりにお母さんの願いを聞いてくれる？」と尋ねられた。…中略…

「一緒にお昼寝をしよう。」それがお母さんの願いだった。お母さんは誕生日プレゼントのかわりに私と一緒にいる時間を望んだのだ。そう思うと、自分が必要とされているような気がしてうれしくなった。結局「おめでとう」は言えず終いで、誕生日プレゼントもあげることができなかった。それなのに、お昼寝をしている時のお母さんの寝顔はとても幸せそうだった。

資料

アドバイス 3 … 日常の“輝き”に注目

- ・すぐれたエッセイの中には、日常のなにげない時間の中にある“**輝き**”を表現しているものが多い。

だれもが経験するであろうことの中に、
新しい・かけがえのない事柄を見出している

資料

大谷大学 文藝コンテスト（大谷大学HP）

過去の受賞作品公開中！

大谷大学文藝コンテスト（2013～）

> 2021年度 受賞作品

> 2020年度 受賞作品

> 2019年度 受賞作品

> 2018年度 受賞作品

> 2017年度 受賞作品

> 2016年度 受賞作品

> 2015年度 受賞作品

> 2014年度 受賞作品

> 2013年度 受賞作品

親鸞エッセイコンテスト（2014～2019）

> 2019年度 受賞結果
「よりそう」 

> 2018年度 受賞結果
「ほんとう」って？ 

> 2017年度 受賞結果
「生きるってどういうこと？」 

資料

あらためて、**注意**！！

- エッセイには、形にも、内容にも、正解はありません。

先ほどの例や受賞作品を、
“**模範解答**”と思わないで！！

資料

おわりに

楽しみつつ、こころみる essayer、
挑戦する姿勢を忘れずに

いまのあなただから、書くことができる
かけがえのない表現をお待ちしています！！

資料